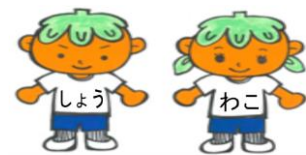




# 昭和小だより



朝夕の寒さを残しながらも、日中は春の気配を感じさせてくれる頃となりました。休み時間には、友達と運動場で鬼ごっこをしたり、ボール遊びをしたり、ジャンピングボードで縄跳びの練習をしたりと、元気に外で活動する子ども達の姿が多く見られるようになりました。そんな中、6年生は卒業式に向けての練習も始まりました。

ふと、頭上を見上げると、校庭の桜の木の芽が日増しに膨らんでいることに気がきます。桜の木も春に向けての支度をしています。学年の最後となる3月、子ども達も新しい春に向けての準備をしています。

## 成長することの素晴らしさ

2月25日に1年生が昭和こども園の年長さんをお迎えして交流会を行いました。当日は、雨模様にも関わらず37名の園児が昭和小学校に来てくれました。まず、1年生は小学校で行われる1年間の行事を紹介しました。また、教室で園児のみなさんに、自分の席に座ってもらって、園児のみなさんに教科書を読んであげていました。優しく手を引いて、学校探検にも行きました。様々な教室を紹介しました。最後に、生活科で育てたアサガオの種をプレゼントしました。私は1年生の姿をみて「1年生は入学してから本当に成長をしたなあ」と嬉しい気持ちになりました。「1年生、大変よくがんばりました」



もう一つ、子ども達の成長を実感したできごとがありました。それは、2月26日・27日に行われた「6年生を送る会」です。新児童会役員が中心となり、今までお世話になった6年生に「どうすれば6年生に楽しんでもらえるのだろう…感謝の気持ちを伝えることができるのだろう」と在校生が6年生のために工夫し、一生懸命に準備していました。今年度は、1部では「ミニミニ運動会」を、2部では「感謝の集い」を開催しました。

ミニミニ運動会では、6年生と一緒に、フラフープリレーや王様ジャンケンピラミッド、しっぽとりゲームやドッジボール、長縄競争をして6年生と楽しい思い出を作りました。そして、感謝の集いでは、在校生からの手作りプレゼントに、6年生はとても喜んでいました。在校生の「相手を思いやる温かな心」の成長を実感しました。また、6年生からは在校生へ、クイズ大会とリコーダー演奏のプレゼントがありました。6年生はいつも在校生のことを考えてくれる優しい存在でした。「6年生、今まで本当にありがとう」



最後になりましたが、教職員一同、お世話になった方々に感謝するとともに、引き続き子ども達のために全力で教育活動を進めてまいります。保護者、地域の皆様方におかれましては、これからも本校の教育活動への御理解、御支援を賜りますようお願いいたします。